

見る・聴く・動く 橋本まさる市政報告



川崎市の小児医療費助成制度に係る国民健康保険減額調整措置について

平成29年度、橋本勝は文教委員会に所属となりました。文教委員会では、市政の市民文化局・こども未来局・教育委員会を所管しています。待機児童問題をはじめ、子ども施策について正に侃侃諤諤の議論を行う場となります。表記の小児医療費助成制度については段階的に対象年齢を引き上げてきました。今年度からは小学6年生までを対象とし通院助成を行っています。(4年生から6年生は一部負担金あり)

一方で、この制度を実施していることにより国は川崎市に対し、国民健康保険国庫負担分の減額措置を行っています。地方自治体として様々な要望を国に対して行うに当たり、子どもの医療費に係る部分については自治体間の不公平差を解消すべく国による制度化を図るべく要望してまいりました。この度、制度化ではありませんが平成30年度より国庫負担金の減額調整の未就学児分(0歳から6歳)については行わないものとすることを決定しました。本市の実績からは約5千万円の財源となります。見直しにより生じた財源については、各自自治体において更なる医療費助成の拡大ではなく他の少子化対策の拡充に充てるよう求められています。効果的な施策に反映できるように取り組んでまいります。

平成29年度多摩区投資的事業(一部抜粋)

【市民文化局】	
・岡本太郎美術館施設性帯事業	46,770千円
・生田出張所庁舎整備事業	19,829千円
【経済労働局】	
・農業技術支援センター施設整備	10,000千円
【こども未来局】	
・民間保育所の整備(南生田3丁目地内)	16,632千円
・生田・生田乳児保育園の再整備	7,201千円
【まちづくり局】	
・登戸土地区画整理事業の推進	5,511,315千円
・公営住宅の整備(中野島住宅48戸)	481,088千円
・南武線駅アクセス向上等整備事業 (稲田堤駅橋上化調査、中野島駅暫定臨時改札口設計委託等)	29,658千円
【建設緑政局】	
・歩道設置事業(市道堰25号線ほか)	47,000千円
・道路照明灯の設置	43,524千円
・緊急渋滞対策事業(稲生橋交差点)	98,910千円
・自転車通行環境整備事業(地方道世田谷町田)	34,675千円
・自転車等駐車場整備事業 (宿河原駅周辺自転車駐車場第1施設増築工事他)	91,428千円
・街路事業(都市計画道路世田谷町田線他)	213,500千円
・特別緑地保全地区等の用地取得(生田榎戸地区)	154,545千円
・多摩川サイクリングコース延伸整備	67,376千円
【消防局】	
・耐震性貯水槽の整備	20,432千円
【教育委員会】	
・稲田小学校空調設備改修工事に伴う設計	14,224千円
・校舎の予防保全による改修(中野島中学校、28年補正分)	639,993千円
・校舎の予防保全による改修(菅小学校設計)	14,352千円
・校舎の予防保全による改修(稲田中学校設計)	5,068千円
・体育館の再生整備による改修(稲田中学校)	193,680千円
・体育館の再生整備による改修(宿河原小学校)	6,056千円
【上下水道局】	
・配水施設等整備の推進(配水管布設替工事等)	1,134,403千円
・雨水管の整備(菅野戸呂地区ほか)	264,059千円
【交通局】	
・西長沢上屋1基更新	3,284千円
・生田高校前他停留所運行情報表示器2か所新設	1,361千円

川崎市議会議員

橋本 勝

は し も と ま さ る

プロフィール

昭和49年5月25日 川崎生まれ
中央大学経済学部卒業
平成10年4月 田中和徳衆議院議員秘書
平成27年4月 川崎市議会議員選挙
3期目当選

経歴

平成23年度 総務委員会委員長
平成24年度 環境委員会委員
平成25年度 健康福祉委員会副委員長
平成26年度 まちづくり委員会委員
平成25・26年度 自民党川崎市議団副団長
平成27年度 市民委員会委員長

昭和49年5月25日 川崎生まれ
中央大学経済学部卒業
平成10年4月 田中和徳衆議院議員秘書
平成27年4月 川崎市議会議員選挙
3期目当選

平成23年度 総務委員会委員長
平成24年度 環境委員会委員
平成25年度 健康福祉委員会副委員長
平成26年度 まちづくり委員会委員
平成25・26年度 自民党川崎市議団副団長
平成27年度 市民委員会委員長

大都市税財政制度調査特別委員会委員長に就任

平成29年度より川崎市議会は新たに「大都市税財政制度調査特別委員会」を設置しました。以前より、指令指定都市市長会議として国に対し税財政について税源移譲や事務負担に応じた財政措置など要望してきましたが、市議会として更に積極的かつ主体的に議論していけるよう特別委員会が設置されました。申し上げるまでもなく、大都市は我が国をあらゆる面で牽引しているわけですが、一方で課題も山積しています。今後の都市経営においてこの特別委員会の議論が寄与するよう委員長の職責を果たしてまいります。